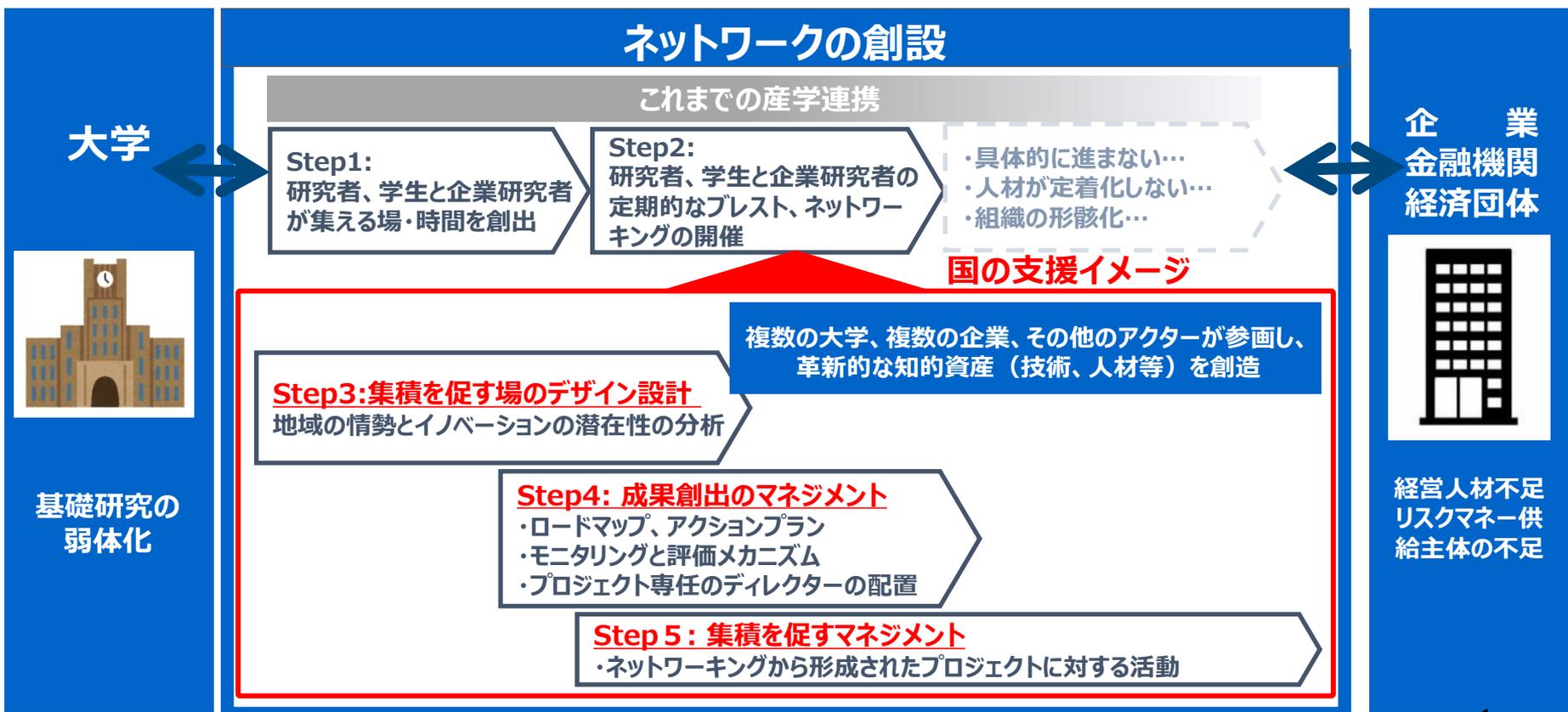
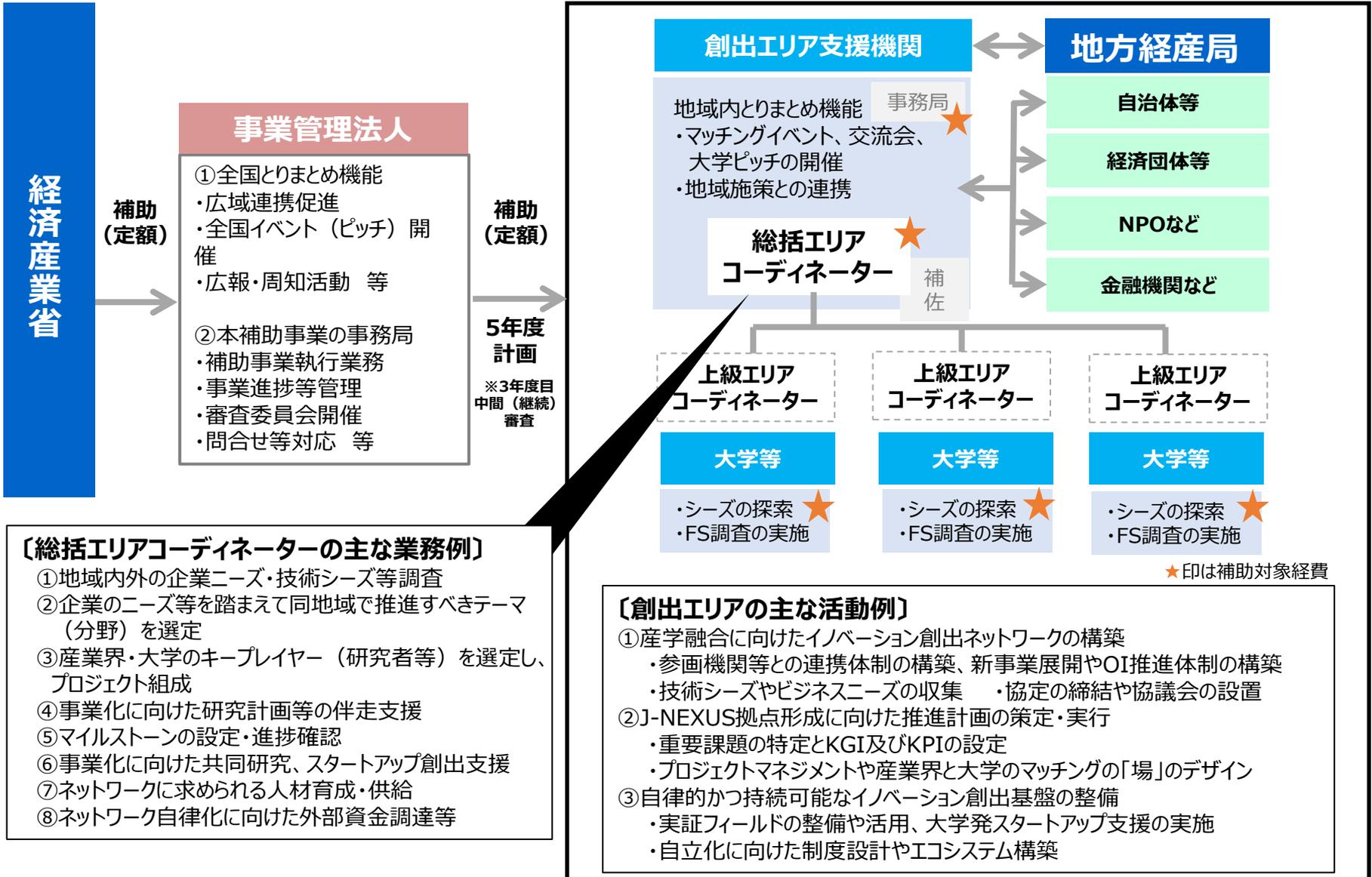


産学融合先導モデル拠点創出プログラム(J-NEXUS)スキーム図

- 地域ブロック（経産局単位）における複数の大学と企業のネットワーク創設支援し、ブロック単位で一気通貫に産学連携支援を推進する施策の最適化と広域化を支援。
- ネットワークの“場の形成”では、既に産学連携事業等である、①研究者、学生と企業研究者との産学連携機会の創出支援（“集える場・時間”の創出等）、②大学内のシーズ発掘・ビジネスモデル構築支援（定期的なプレスト、ネットワーキングの開催）に加えて、**国が産業基盤の高度化を目指し、産学連携として特化すべき分野を「企業家発見プロセス」を通じてボトムアップで設定し、定期的なモニタリングや評価を重視し、産学融合拠点につながるプロジェクトを組成。**



令和4年度実施スキーム



■ 取組事例 1 : 関西イノベーションイニシアティブ



価値創造ストーリーに基づく4つのカテゴリ

総括的なコーディネート

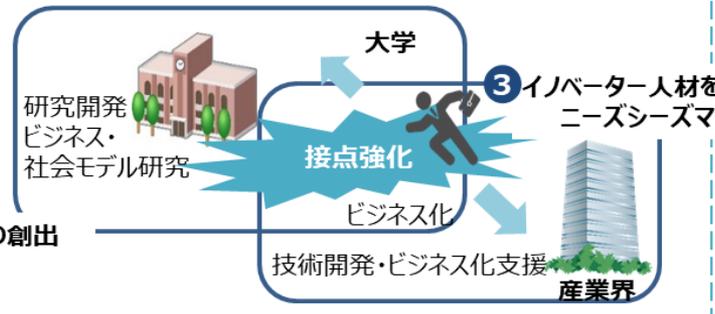
(総括エリアコーディネーター・副総括エリアコーディネーター・エリアコーディネーターが推進)

□ : 産学連携スキーム変革のための取組み
□ : 研究シーズの拡充

**1 加盟大学間のつながりを
実現する場の準備**
(上級エリアコーディネーターが推進)

- 近畿圏内主要大学によるネットワークを組成する
- 参加大学の産学連携部門の窓口(出島)機能を都心部に集約し、大学間相互及び産学連携を先導する拠点づくりを目指す

1 場の整備



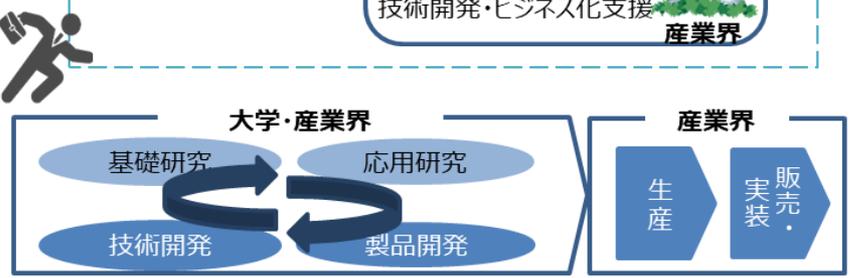
**3 大学発シーズマッチングによる
産学共創の推進**
(上級エリアコーディネーターが推進)

- 大学が有する研究シーズおよびそれを活用するベンチャーと、産業界の持つ市場ニーズ、事業資源等をマッチングすることにより、新たな事業やベンチャー企業の創出を実現する

**2 大学と産業界をつなぐ、
イノベーター人材育成
プログラムの組成**
(上級エリアコーディネーターが推進)

- 産学双方の考え方・価値観を有し、“研究シーズを理解し自らがビジネスを駆動させる、ハイブリッド型人材”の育成の為、人材育成プログラムを組成する

2 イノベーター人材の創出



**4 大学発の研究シーズを
起点とした研究開発プロジェクト**
(上級エリアコーディネーターが推進)

- 至近課題対応、科学技術政策等との関連性が高い取組、中長期的かつ新たな視点で研究開発の芽を汲み上げる取組等、ソリューション開発の“種火”となるシーズの発掘、およびそれらの事業化に至るまでのスキーム検討を行う

**4 イノベーター人材による
側面支援**

「チャレンジフィールド北海道」の活動全体

方針① “オール北海道”
道や地域、大学の施策と連携

方針② “地域と産の力”
出口(社会実装)から牽引

方針③ “共創基盤”
自律化に向けて仕組み化

- ・プロジェクトを具体化し、実践と仕組みづくりの両輪で推進
- ・3つの活動をつなぎ、共進化

【社会価値】

1 人材育成

2 事業創出

3 社会課題解決
・地域づくり

【実践活動】

・コンソーシアム
／プロジェクト

【CF北海道】
共創基盤

発掘

マッチング

企画

共創

支援

...

情報

コミュニティ

環境

【大学群】

大学A

大学B

大学C

大学D

...

...

北陸RDXの実施体制

北陸DXアライアンス (HD x A)



事業の種の発掘と事業資源のリスト化

- ・ Matching HUBと連携
- ・ 域内の事業資源のリスト化
- ・ 事業の種づくり
- ・ 学生ビジネスアイデア支援

地域内のIT関連企業を活用したDX支援体制

- ・ 推進計画の事業に対する専門的アドバイス
- ・ 域内のIT企業のセグメント
- ・ 案件に応じたIT機能の調達支援

新規推進計画の策定

- ・ マーケティング、事業計画、資金調達、事業立ち上げなどの支援

ESGファイナンスLaboによる資金調達のマッチング

- ・ ベンチャーからインフラまでの資金ニーズに対する資金調達支援 (ESGファイナンスLabo)
- ・ 学生アイデアに対するエンジェルとのマッチング

地域企業のDXと知財戦略に対応できる人材育成

- ・ RDXの推進に必要な人材育成プログラムの構築と持続的枠組み作り

